

# 大志を育む



平成31年3月8日

教育委員会だより

No. 27

発行：北広島市教育委員会

## 小中一貫教育とコミュニティ・スクールで 子どもを育む

小中一貫教育課 課長 富田 英禎

小中一貫教育の全市一斉導入から間もなく1年を迎えます。子どもたちの先行体験として、またつまずきを緩和し期待感を上昇させるため、各中学校区の特性を生かして、子どもたちが9年間の学びの連続に気づき、実感する様々な機会を創出し取り組んでいただきました。私も授業を参観させていただく機会をいただきましたが、子どもたちが生き生きとした表情で授業を受けている姿や、振り返りシートに書かれた感想を通して、改めて小中一貫教育の取組が子どもたちの成長にとって有用なものであると確信を持ったところです。ご尽力いただいております各校の教職員の皆様に、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。

一方、「小中一貫教育推進会議」における各中学校区の意見交流では、保護者や地域への浸透にはもう一步の取組が必要であることが触れられました。中学校区によっては、土曜授業や学校説明会などの機会をとらえて、乗り入れ授業等を保護者や地域の方に参観していただくなど、「百聞は一見に如かず」となる取組をしている例も見られます。積極的な発信に努めていただければ幸いです。

さて、北広島市としましては、現在西部中学校区で導入している学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を全市に拡大することを目指し、まず来年度からは大曲・緑陽の2中学校区で準備をスタートします。

小中一貫教育とコミュニティ・スクールは非常に「親和性が高い」といわれています。中学校区の課題を保護者・地域と共有しながら、同じ方向を向いて、ともに子どもを育む持続可能な体制を整えていくことにより、9年間を通して発達・発育段階に応じた学校と地域との関わりが、より強固なものとなるものと思います。

小中一貫教育もコミュニティ・スクールも、子どもの生きる力を育むための有効な手段です。子どもが夢と希望をもって生き生きと暮らせるよう、教育委員会も各学校とともに進んでいきたいと考えています。

来年度、「学校教育の推進方針」では、重点として『義務教育9年間を通して「生きる力」を育む小中一貫教育の深化』を掲げています。ご理解とご協力をお願いします。



# 緑陽中学校区(緑ヶ丘小・緑陽中)の小中一貫教育

(緑陽中学校区めざす子ども像)「ともに学び 心豊かに たくましく生きる子」

## 1 スタンドアードの重点化「メチャ学」

小中一貫して取り組むスタンダードを、わかりやすく重点化しました。3つの重点の頭文字をあわせて「メチャ学」というキーワードにし、常に意識できるように工夫しました。

**メディアリセットチャレンジカード**  
年 組 名 前 ( )

取り組み方

- メディアの利用は1日1時間以内とし、その後はテレビも使わずに寝る。
- 学習目的のメディア利用(授業用プリント・授業録音機など)する場合は除く。
- 子どもが寝るまでは電源も一緒に切る。
- 家族全員で、その日の学びを0-10点で自己評価する。
- チャレンジ期間が終了したら、この記録簿にしたがって評価する。

※コンクール表彰

目標の達成、人が褒められることも、今年心豊かな生活を送ることに繋がります。  
デジタルメディアを上手に活用し、親子で楽しみながら学びましょう。  
①チャレンジ期間中は、実際に学習記録簿を記入する。  
②記録簿を毎日、授業終了後必ず確認し、記入する。  
③親のスマホを所持している人は、ちょっと早い、まっさらな状態で授業を受けること。  
④コンクール表彰そのものをしめし、奨励したがる中での実施。  
⑤記録簿を毎日、スマホを手に取りながら記入し、記入し終わったら、記録簿を提出する。

2学期中間 9月11日(火)～9月17日(月)

朝寝覚めたときの気分 (0点～10点)

11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)	16日(日)	17日(月)
点	点	点	点	点	点	点

ラック A B C (→どれか1つを○でマーク)

とくの人(名前)

特にメディアの利用については、今まで「NOメディアDAY」の取組を進めてきましたが、マンネリ化しているという意見が出され、今年から「メディアリセットチャレンジ」という別な取組を始めました。SNS や動画サイトの利用への依存が危惧されているだけに、小中一貫して家庭と連携した取組を進めています。

## 2 定期的な研修会を開催

1学期の始業式前と、終業式の後に、小中の教員が全員集まり、打合せ会議を行いました。新年度の計画を確認したり、改善案を検討したりして、スムーズな小中一貫教育が推進できています。



また、校内研究授業を互いに参観し、研究協議を2回ずつ行っています。児童生徒の実態をつかむと同時に、授業技術の向上を一体となって進めています。

## 3 乗り入れ授業

1学期は、小学校の教員が中学校に乗り入れて、生徒の指導にあたりました。進学したばかりの中学一年生の実態を把握することで、学力面でのよりスムーズな接続への課題把握と改善策を共有することができています。

2学期は、中学校の先生が小学校に乗り入れて授業を行います。そこでは、中学校で行われる定期テストの解説や、中学校での授業スタイルに慣れるために、主に6年生に授業を行います。

3学期は、6年生が中学校に1日体験入学を行い、1時間目から中学校の先生の授業を受けます。中学2年生と一緒に給食を食べ、中学校の様子を色々と事前に教えてもらいます。

## 4 中体連壮行会参加・部活動体験・合唱交流・合同挨拶運動

その他、様々な取組をしています。1学期と2学期の始業式直後の二日間は、児童会生徒会役員が校門前に立ち、合同挨拶運動を行います。

中体連壮行会に6年生が参加し、中学生の姿を見て、進学後の自分をイメージします。

部活動体験を行い、進学後の部活動の選択に時間をかけて考えます。

小学校は学芸会前、中学校は学校祭後の10月上旬に、小学4年生と、中学3年生が合唱交流を行います。先輩から学び、後輩に伝えるという校区で一体となった一貫教育を推進しています。

